

2022 年 8 月 17 日

## 再生可能エネルギー電力導入のお知らせ

アズワン株式会社（本社：大阪市西区、代表取締役社長：井内卓嗣）は、2022 年 7 月 1 日より、本社ビルをはじめ、大阪物流センター（大阪市西淀川区）および東京物流センター（埼玉県北葛飾郡）などにおいて再生可能エネルギー電力（※1）を導入しました。これにより、当社グループの CO<sub>2</sub>排出量は、年間 1,027 トンの削減となる見込みで、当該施設での電気使用による CO<sub>2</sub>排出量は、2022 年 7 月から実質ゼロになりました。

当社は、2022 年 6 月に TCFD（※2）提言、再エネ 100 宣言（RE Action）（※3）へそれぞれ賛同し、気候変動に対する取り組みとして、各種リスクや事業インパクトの評価を実施してまいりました。また、温室効果ガス排出量（スコープ 1，2）（※4）において、2050 年にカーボンニュートラルを実現するため、2030 年度に 2020 年度対比で 42%削減する目標を設定しました。

このたびの再生可能エネルギー電力の導入は、この削減目標を達成するための取り組みの一つであり、上述のとおり、当社グループ全体の電力使用による CO<sub>2</sub>排出量は 1,027 トンの削減見込みです。また、温室効果ガス排出量（スコープ 1，2）においては、2020 年度比 37%の削減見込みとなります。

当社は引き続き、事業の成長を継続しつつ気候変動への取り組みを進めてまいります。

（※1）自然界に常に存在するエネルギーのこと。「枯渇しない」「どこにでも存在する」「CO<sub>2</sub>を排出しない」ことが特徴。

（※2）気候関連財務情報開示タスクフォース

（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）



（※3）企業や自治体等が使用電力を 100%再生可能エネルギー（再エネ）に転換する意思と行動を示し、再エネ 100%利用を促進する枠組み



（※4）スコープ 1＝事業者自らによる温室効果ガスの直接排出

スコープ 2＝他社から供給された電気、熱、蒸気の使用に伴う間接排出

■概要

- ・導入電力プラン：再エネ ECO プラン（トラッキング付帯）

- ・主な対象施設

本社（大阪市西区）

本社別館（大阪市西区）

R&D センター（大阪市北区）

大阪物流センター（大阪市西淀川区）

レンタル・校正センター(大阪市此花区)

和歌山 CIC(和歌山県海草郡)

東京物流センター（埼玉県北葛飾郡）

他